

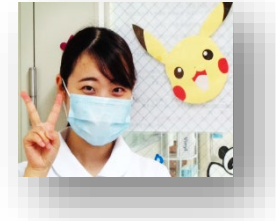


新人看護師の成長

4 西病棟 林 麗菜

小児科病棟で患者さんからいただいた「言葉」に支えられて

看護師となりまだ半年という短い期間ですが、これまでに嬉しかったことがたくさんありました。



いつも泣いていた患者さんがはじめて笑顔を見せてくれたこと、毎日「帰りたい」と泣いていたのに退院前に

「お姉さんに会えなくなっちゃうのが寂しい」と言ってくれたこと。内気で寡黙な中学生が、私に本音を打ち明けてくれたこと。これらの体験を通して、看護技術や知識だけではなく、患者さんのそばで寄り添うことが、看護師としてのやりがいにつながっていくことを学びました。お子さんにとって入院は、不安や恐怖、孤独を感じやすい環境といえます。ありのままを受け止め患者さんに寄り添って看護していく事が、大切であると感じています。

小児看護について学ぶ事が、まだまだたくさんあります。お子さんにとって、少しでも心を開ける存在や治療をがんばる支えになれるように、私も努力したいと思っています。



そのためには、笑顔を忘れず、ひとりひとりの患者さんに寄り添った関わりを心がけていきたいです。